

## セルフメディケーション推進と 薬局薬剤師の健康情報発信力

一般社団法人 青森県薬剤師会  
啓発事業実施者 磯木雄之輔

〒030-0961 青森県青森市浪打一丁目16番17号 電話 (017) 742-8821

### 要旨

#### 1 啓発事業目的

薬局とは全ての医薬品の供給が責務である。しかし現在の薬局は保険調剤に偏っているため一般用医薬品の供給がなく地域の健康情報基地としての活動がなくなっている。薬局薬剤師は20年ほどの間に、お客様対応力、対面販売力が低下してしまった。全国5万を越える薬局に薬剤師が配置されている社会資源、医療資源が存在する。この薬局が一般用医薬品、セルフメディケーション推進を進めて行くことは介護、高齢者対策、国民医療費の増大を打開すると考える。薬局の健康情報発信力は地域社会の利益につながる。「健康情報発信力の研修」は一般用医薬品の販売強化とセルフメディケーション推進を強く押し進めると考えた。

今回の事業で薬局薬剤師の健康情報発信力を向上させ、地域のセルフメディケーションを担う薬局薬剤師に健康情報発信力の啓発講演を開催する事で青森県のセルフメディケーションを推進し一般用医薬品の販売を促進する。青森県薬剤師会の行っている「セルフメディケーション支援薬局」事業との相乗効果を期待するものである。

#### 2 啓発事業実施概要と講演内容

##### 2-1 実施主体

一般社団法人 青森県薬剤師会 一般用医薬品等委員会委員が運営、準備等を行なった。  
主に常務理事 磯木雄之輔 が立案、実施の事務及び会計、受付は青森県薬剤師会 事務局で行なった。

##### 2-2 広報

一般社団法人 青森県薬剤師会会員への講演会開催とし各支部広報および会員へ講演の内容、講師の紹介、活動情報をきめ細かく伝達した。

##### 2-3 実施内容

- 日時 2014年10月26日(日) 9:30～12:00
- 場所 アピオ青森(〒030-0822 青森県青森市中央3丁目17番1号)  
イベントホール
- 開催名 セルフメディケーション推進と薬局薬剤師の健康情報発信力
- プログラム

9:30～9:45 開会挨拶 一般社団法人 青森県薬剤師会  
専務理事 高橋 学

9:45～11:45 講演  
セルフメディケーション推進と薬局薬剤師の健康情報発信力  
薬学博士 薬剤師 宮川 季士

11:45～12:00 閉会挨拶 一般社団法人 青森県薬剤師会  
常務理事 磯木 雄之輔

#### 2-4 実施結果

- 講演会参加者 38名
- 広報活動の遅れが参加者数に影響した。反省材料としたい。
- 開催日に他の薬剤師研修が同日、同市内で行なわれたため研修参加希望に対応できなかったため研修映像を作成しWebでの研修を企画した。

Web研修会参加者 197名



### 3 啓発事業成果

保険調剤が主な薬剤師の仕事となっている現在、一般用医薬品販売を中心に経営されている薬局は大変少なくなっています。特に地域の住民の救急箱としての位置づけは薄れて、若い薬剤師にはその経験を求めることさえ困難になっています。厚生労働省の「情報発信

拠点事業」にみられるように今、薬局は国民のセルフメディケーションの拠点となることが求められています。しかし、街のセルフメディケーションの中心として薬局が存在した時から数十年経過しました。物理的には商品や店舗は求められても拠点の薬剤師にセルフメディケーション対応力が不足していることが問題と思います。そればかりかマンツーマン調剤によって多様な症状、内科・皮膚科・外科など多様な病態に適応できなくなっています。

今回の啓発事業は若い薬剤師の参加が多く、講演終了時に講師を囲みディスカッションが起こるほどの好評でした。未来の医療の環境をふまえ若い薬剤師がお客様対応力を身につけたいと思っていたと考えます。

青森県薬剤師会の若手薬剤師には未来の薬剤師像の一端をイメージさせた啓発事業だと思っています。

#### 4 考察

はじめての応募で事業に関わる全てに不慣れな点があった。しかし今回取り上げたテーマは将来を担う薬剤師に本来の薬局機能について紹介できたと考えます。

#### 5 まとめ

今後の医療に薬剤師はどのように関わって行くのか、また薬局をとりまく環境がどのようになるかは予想が難しい、しかし薬剤師がセルフメディケーションを推進する中心になることは確かだと感じた。

啓発助成事業が公益財団法人一般用医薬品セルフメディケーション振興財団によって実施され青森県薬剤師会としてセルフメディケーションの意義、重要性などを広く会員に伝達できたことに深く感謝いたします。

以 上

# セルフメディケーション推進と 薬局薬剤師の健康情報発信力研修会 プログラム

日 時：平成26年10月26日（土） 9：30～12：00

場 所：アピオあおもり

青森市中央3-17-1 TEL：017-732-1010

司 会 一般社団法人青森県薬剤師会  
一般用医薬品等委員会 澤上 克彦

## 1. 挨拶 (9:30～9:40)

一般社団法人青森県薬剤師会  
会長 木村 隆次

## 2. 講演 (9:40～11:20)

- ・ 薬剤師の情報発信力について

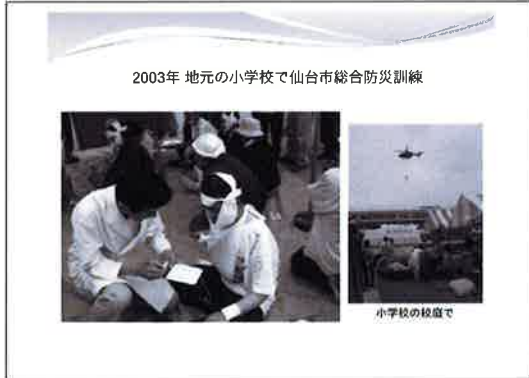
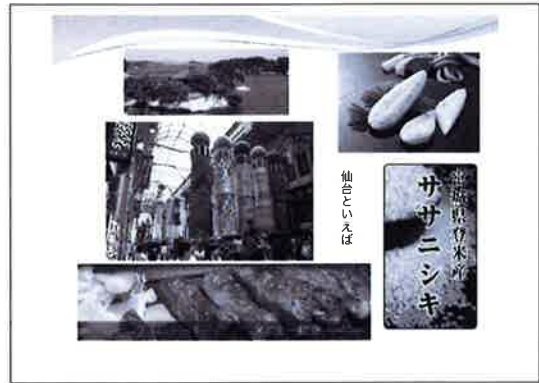
薬学博士 薬剤師 宮川季士 先生

## 3. セルフメディケーションについてのディスカッション (11:20～11:5)

一般社団法人青森県薬剤師会  
常務理事 磯木 雄之輔

## 4. 閉会の挨拶

一般社団法人青森県薬剤師会  
専務理事 高橋 学





サンプリングの重要性



サンプルはすぐにお出しできるように

坪庭を見ながらミニ講演会



OH! バンデスに出演

◆ お茶の間の夕方の人気番組、青葉城恋歌で有名な  
さとら宗幸さんが司会

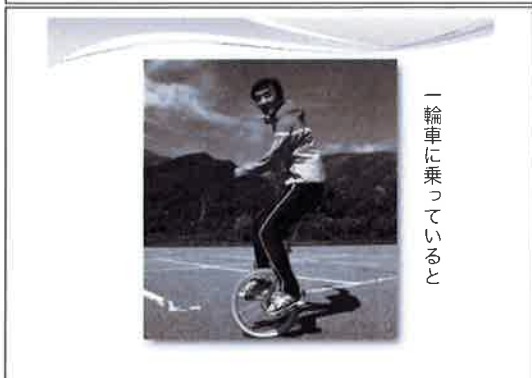


お客様情報はPCで管理



感謝金は千円札の新券で

















MRIによる大腿部の横断画像の比較

20歳代 70歳代

加齢現象として筋肉量の減少が起こる

高齢者が参加する中心

・数は決して多い訳ではない。今は歳上の層の中でも積極的に参加に行く  
・健康と無理難題が少なく、見守り支援の充実のため参加が多い。  
・6ヶ月で数人参加したと見られるようになった  
・マンツーマンの少人数で継続できている。ハローワーク  
おこなった  
・クラブの発足を考えた(1ヶ月)  
・詳細は別紙なども見せたいのでデータが欲しい

お知り合いに届けてもらうか

シンポジウムを開催

シンポジウムの内容と同紙新報の記事

ウエルファアラフの音楽会

10月音楽会ライブ  
10月20日(土)18時30分～20時30分  
10月21日(日)10時～12時

ウエルファアラフの音楽会

